



「天然秋田杉」のふるさと

仁別国民の森

仁別自然休養林

仁別自然休養林

秋田市の中心街を流れる旭川の源流部一帯、太平山の山麓に広がる森林地帯で、春はフナの新緑とベニヤマクラガ山を彩り、秋にはカエデ等の紅葉が渓流に映え、四季折々の優れた自然景観を楽しむことができます。特に、日本三大美林の一つとして有名な「天然秋田杉」の古里でもあり、旧佐竹藩の「御直山（おきやま）」として自然林のまま保護されており、その姿を間近に見ることができ森林浴や自然観察などに最適で、訪れる人々の心を癒してくれます。

また、秋田市のシンボルで平成16年度に「高齢者も登れる百名山」に選ばれた「太平山」（1,171m）の登山口の一つとなっており、山頂からは、秋田市を眼下に、日本海、男鹿半島、島山、遠くは岩木山、岩手山、早池峰山など広大な360度の眺望が楽しめます。

仁別自然休養林は、「仁別国民の森」の名で市民に親しまれており、秋田市街地から車で約5分と比較的近く、春の新緑や秋の紅葉の季節には、登山や森林浴、自然観察、ナベッコ遠足などで賑わっています。

天然秋田杉の歴史

文化年代（1804～1818）佐竹藩九代藩主義和（よしまさ）公は、第三期林政改革御下で、計画実現のため登用されたのが、加藤藤林（かげしげ）であります。木山方吟味役としての藤林は、編纂の業正、制度の改新によって着々とその実績をあげ、佐竹藩林政に有終の美をなすにいたったといわれています。

昭和44年（1969）「仁別自然休養林」に指定されました。昭和47年（1972）「仁別自然休養林」を含む12千haが太平山県立自然公園に指定されました。

「国民の森」とは

昭和41年国有林は明治100年記念事業として、全国に2箇所の「明治の森」を指定し、さらにその他の6箇所に「国民の森」を指定しました。その中の1つが「仁別国民の森」です。

「自然休養林」とは

みなさんに森林レクリエーションを楽しんでいただくために、全国の国有林の中から、特に優れた自然景観を有する森林を選んで整備した「人と森林とのふれあいの場」です。四季折々の景観に親しみ、存分に楽しんでください。



交通案内（仁別国民の森まで）

- JR秋田駅より車で約50分
 - 秋田自動車道 秋田中央ICより車で約50分
- 仁別駅より先の道はせまくなりますので運転にはご注意ください。

お問い合わせ先

東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市通5-9-16
技術普及課 TEL 018(836)2214
保全課 TEL 018(836)2021

秋田森林管理署

〒019-2601 秋田県秋田市河辺和田字和156-3
TEL 018(882)2311

仁別森林博物館

秋田県秋田市仁別字務沢国有林22林班
TEL 018(827)2322

利用案内

- 入 館 料 / 無 料
- 開 館 期 間 / 5月上旬～11月上旬
5月 9日 10:00～17:30
10月 11日 10:00～17:30
- 開 館 時 間 / 10:00～17:30
- 休 館 日 / 毎週火・水・木曜日（祝祭日は除く）
※休館日の団体利用は相談に応じます

散策ガイド



博物館から見た天然秋田杉



登山道の広葉樹林



旭又の秋田杉林



せせらぎの道の清流



上空から見た列状間伐



紅葉の夫婦橋

緑の回廊

(太平山～森吉山～八幡平)

東北森林管理局では、森林生態系保護地域等の「保護林」を積極的に設定するなど自然環境の維持、動植物の保護等に努めてきました。

こうした「保護林」同士を連動して、連続した自然林を回復することにより、本来生息・生育する野生動植物の広域的なつながりを確保し、分散された個体群の相互交流、生物多様性の保全に資することを目的としています。



仁別国民の森カイト



天然秋田杉について

日本特有の属を代表し、1属1種（すぎ科、すぎ属）とされている。全国に広く天然分布し、古来から日本の代表的な植栽樹種であります。

■和名＝スギの語源
適度な樹幹形状の産で、（産木＝スギキ）に由来するといわれています。

■天然秋田スギの特徴
材質が優れていることと相まって、蓄積が多いことで知られています。

■学 名
ギリシャ語の、Crypto（隠れたる）menia（関節部分）の合字で針葉の基部が重なり合っており、また、葉に関節がなく、葉が枯死しても落ちないことを示すものといわれています。

■天然林の成立
古文書及び林分構造の分析等から、主に伏糸あるいは立糸のために、全国の国有林の中から、その後の護の保護政策により里入産葉が除去されたために成立したといわれています。

■天然秋田杉林内の樹齢
200～250年であるが、銘木誌によれば樹齢樹は概ね1500年前後と考えられます。

■用 途
一般製材用（板類、天井板、造作材）、合板用（天井板）、木工（橋、構、家具、建具、曲輪）として使われていました。

「天然秋田杉」の名称

人の手で植栽した杉を「スギ」と呼び、自然に生えたスギを「秋田スギ」と呼んでいました。秋田スギの材質の優美性から日本三大美林として全国的に名声を博してきました。昭和57年4月に林業関係者等により名称を統一することとし、「秋田スギ」を「天然秋田杉」に、「スギ」を「秋田杉」と名称を統一し格別品として地域林業の発展に貢献してきました。



仁別森林博物館

昭和39年（1964）
当館は秋田営林局庁舎改築記念事業として設置（開館）しました。

昭和55年（1980）
秋田県博物館等連絡協議会へ加入しました。

博物館には、天然秋田杉成立の由来など貴重な資料のほか、林業の作業方法の変遷と道具類、木材製品、森林林業に関する資料が保存展示されており、また、休業林に生息する動物や植物の標本も展示しております。

●ボールドウィン号

この蒸気機関車は、大正10年（1921年）に米国フィラデルフィアのボールドウィン社で製作される林鉄道用木材運搬に活躍してまいりました。昭和42年に仁別森林博物館の開館に併せて展示しております。



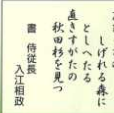
●めおと杉

名前は、いつの時代に誰が名付けたかわかっていませんが、寄り添うように立っている姿から名付けられたといわれております。樹齢はおおよそ200年以上と推定され、古くから山仕事をする人達は山の神木として祀ってきました。樹周りは12m、樹高は向かって左側が35m（女木）、右側が37m（男木）あります。



●昭和天皇陛下の歌碑

昭和44年8月28日、開降下が行幸された際に「仁別国民の森」で詠まれた詩で、昭和44年11月20日当時の秋田営林局が博物館の隣に建立しました。



●軌道インクライン跡

軌道は、急傾斜面を登ることができないので長い距離を迂回しなければなりません。このため、急傾斜面にロープを敷いて、ワイヤーロープと駆動機を用いて自車を直線的に上下させることのできるインクラインと呼ばれる軌道を設置しました。秋田県ではここ仁別の外山箇所で大正時代から昭和30年代まで稼働していました。現在は、登山道となっていますが、跡地が残っているのは全国的にも珍しいといわれています。



仁別国民の森の動植物

 アズママツヤマ (4月上旬～5月上旬)	 シラユキ (4月上旬～5月下旬)	 キキョウ (4月上旬～5月上旬)
 カキョウ (6月下旬～7月下旬)	 イワカガミ (6月上旬～5月下旬)	 ミズバショウ (4月下旬～6月中旬)
 オチトsuma (6月下旬～8月中旬)	 ツクバ (6月下旬～8月中旬)	 ハクサンフロ (6月中旬～10月中旬)
 アノキリンソウ (9月上旬～11月中旬)	 アカショウビン	 クマタキ
 ヤマセキ	 カモシカ	 ツキノグマ

〜「仁別国民の森」を大切に〜

● マナーを守りましょう ●

- 自然は一度こわれると、修復に膨大な労力と時間を要します。樹木に傷をつけたり、草花の持ち帰りはやめましょう。
- ゴミは捨てないでください。ゴミはあなたの責任で持ち帰りましょう。
- 一人ひとりがマナーを守って、この美しい「国民の森」を、次世代へもっと美しく引き継ぎましょう。

● 歩道等の利用上の注意 ●

- 登山道は自己の体力と余暇に応じた山やコースを選びましょう。
- 強風時は枝が折れたりして飛来落下する危険があります。林内には入らないようにしてください。
- 雨降りの日は足場、木道が滑りやすくなります。足元に充分気を付けてください。

● 交通安全(スピード抑えて) ●

- 仁別集落を過ぎると仁別林道に入ります。林道は全線舗装してありますが、道幅が狭く、急カーブが多いので、スピードを落として安全に通行してください。

遊歩道のご案内

①「みはらしの径」

博物館～駐車場750m・30分
展望台からは天然秋田杉と太平山とその連山を眺めることができ、四季折々の景観を楽しめます。

②「せせらぎの径」

やすらぎの池460m・20分 林道分岐点
せせらぎの音を聴き、対岸の天然秋田杉の森を眺めながらゆっくり楽しめます。

③「めおと杉の径」

めおと橋320m・20分 吊橋
天然秋田杉、クロベ、サワグルミ等が茂り、ひととき目を引く「めおと杉」の天然木があります。

④「天然秋田杉の径」

めおと杉400m・25分「めおと杉の道」分岐点
健脚な方におすすめの険しい道で、この自然休養林の比較的大きな天然秋田杉の樹間を散策するコースとなっており、木の大きさに驚きと、感動を与えてくれるでしょう。

⑤「いろどりの径」

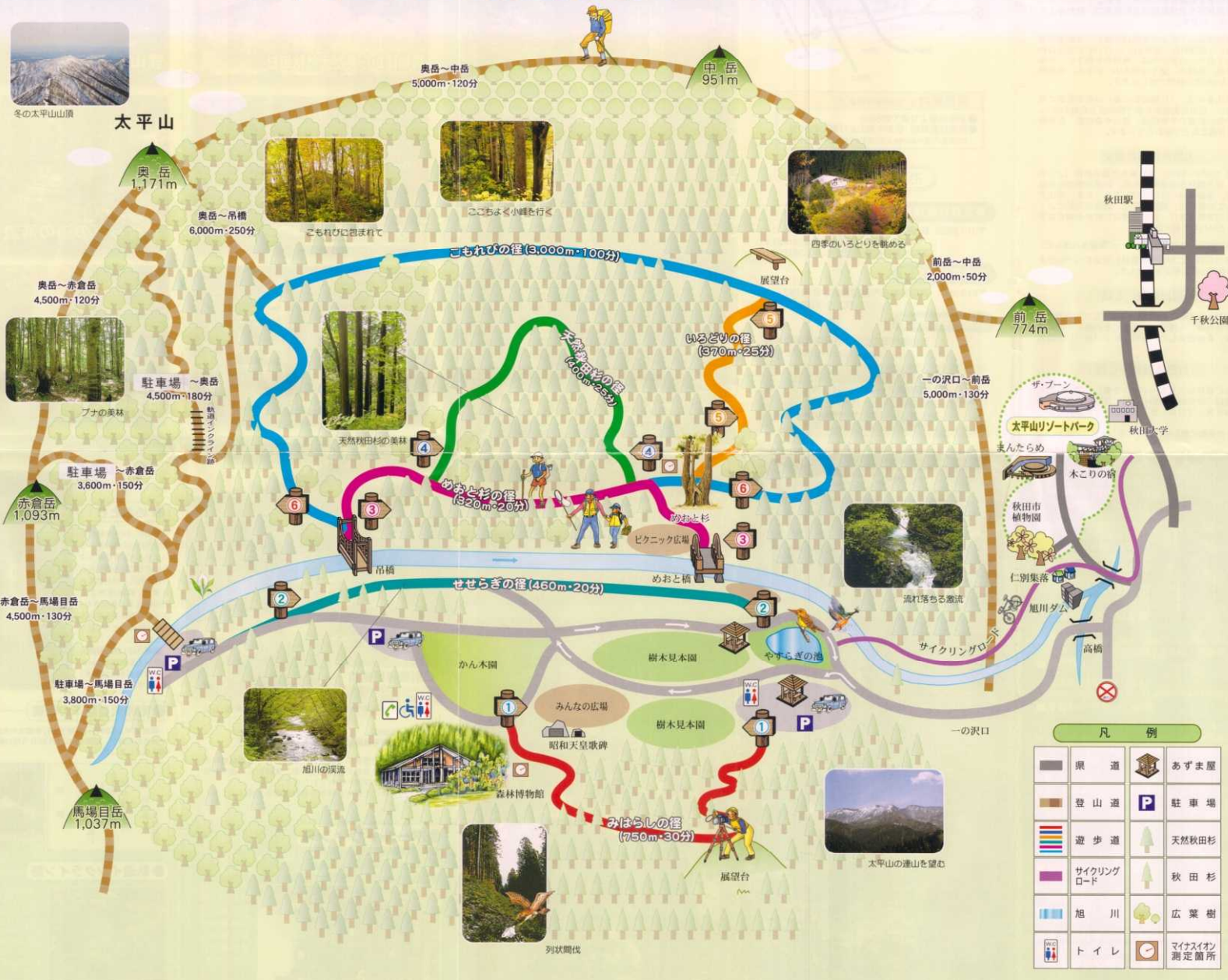
めおと杉370m・25分 展望台
博物館のバックとなっている天然秋田杉、明治時代に植栽した秋田杉と広葉樹の構りなす彩りは見事です。

⑥「こもれびの径」

めおと杉3,000m・100分 吊橋
天然秋田杉、広葉樹の樹間を歩きながら静寂の森に目を遊ばせれば心地よい自然の音が聞こえ、癒しになるでしょう。



「仁別国民の森」散策マップ



凡 例	
	県 道
	登 山 道
	遊 歩 道
	サイクリングロード
	旭 川
	トイ レ
	あ ず ま 屋
	駐 車 場
	天 然 秋 田 杉
	秋 田 杉
	広 葉 樹
	マ イ ナ ス イ ン 測 定 箇 所